

第3学年【国語科】シラバス

1 評価について

(1) 観点及びその趣旨

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
全体趣旨	社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使おうとしている。
3学年趣旨	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、読書を通して自己を向上させ、言葉を適切に使おうとしている。

(2) 具体的な評価の方法

次のような項目を、その到達度により評価する。

- 授業中の取り組み ○ノート ○定期テスト ○課題 ○作文 ○発表会
○小テスト ○漢字テスト ○自己評価 ○相互評価 など

2 授業実施計画

月	単元・教材名	おもな学習のねらい
4	○オリエンテーション ○詩「春に」「初恋」「やわらかな想い」 ○随筆「立ってくる春」	<ul style="list-style-type: none"> 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価することができる。 文章の種類とその特徴について理解を深めることができる。 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価することができる。
5	○小説「なぜ物語が必要なのか」 ○話・聞 最近のできごとを伝えよう ○小説「私」 ○書写 硬筆	<ul style="list-style-type: none"> 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価することができる。 目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討することができる。 読書の意義と効用について理解することができる。 文章を読んで自分の考えをもつことができる。 文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くことができる。
6	○「薔薇のボタン」 戦争に関する文章を読んで考えよう ○話・聞 スピーチをしよう ○情報について考えよう	<ul style="list-style-type: none"> 戦争に関する文章を読んで、自分の考えを持つ 自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫することができる。 文章を読んで自分の考えをもつことができる。
7	○自分の考えを文章にまとめよう ○説明文を書こう ○1学期の国語学習を振り返ろう	<ul style="list-style-type: none"> 文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えることができる。 文章の種類を選択し多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて文章の構成を工夫することができる。 文章の種類を選択し多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて文章の構成を工夫することができる。
8	○説明的な文章を読み比べよう	<ul style="list-style-type: none"> 文章の国政や論理の展開、表現の仕方について評価することができる。

9	<p>○批評文を書こう</p> <p>○ニュースの台本を作ろう</p> <p>○実用文を読もう</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 自分の考えが分かりやすく文章になるように工夫することができる。 • 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価することができる。 • 文章の種類とその特徴について理解を深めることができる。 • 文章の種類を踏まえて、論理の展開の仕方などを捉えることができる。
10	<p>○古典の一節を紹介しよう</p> <p>○鑑賞文を紹介しよう</p> <p>○漢詩を朗読しよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使うことができる。 • 文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えることができる。 • 歴史的背景などに注意して古典を読むことを通してその世界に親しむことができる。 • 文章を読んで自分の考えをもつことができる。 • 歴史的背景などに注意して古典を読むことを通してその世界に親しむことができる。 • 文章の種類を踏まえて論理や物語の展開の仕方などを捉えることができる。
11	<p>○近代の小説を紹介しよう</p> <p>○句会をしよう</p> <p>○書写 書きぞめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。 • 文章の種類を踏まえて論理や物語の展開の仕方などを捉えることができる。 • 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価することができる。 • 文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くことができる。
12	<p>○未来の「希望」を伝え合おう</p> <p>○自己PR文を書こう</p> <p>○スピーチをしよう</p> <p>○2学期の国語学習の振り返ろう</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 文章を読んで自分の考えをもつことができる。 • 論の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点などを見いだすことができる。 • 場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができる。 • 文章の種類を選択し多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて文章の構成を工夫することができる。
1	<p>○わたしたちにできることを 考えよう</p> <p>○討論しよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫することができる。 • 進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりすることができる。
2	<p>○自分の読書生活を振り返ろう</p> <p>○中学校文法教室を振り返ろう</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。 • 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やし、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 • 話や文章の種類とその特徴について理解を深めることができる。
3	<p>○3学期の国語学習を振り返ろう</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 文章の種類を選択し多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて文章の構成を工夫することができる。

3 その他

(1) 必要な持ち物・用意しておくもの等

教科書（文法授業では「新しい文法ワーク」）・ノート・ファイル・漢字練習ノート

(2) 担当の先生から

毎日の生活の中の国語を意識しましょう。

生活の中で、多くの本や文章を読んだり書いたりする機会を増やしましょう。

第3学年【社会科】シラバス

1 評価について

(1) 観点及びその趣旨

歴史的分野の基本的な観点

①知識・技能

- わが国の歴史の大きな流れと、各時代の特色などをわが国の歴史と関連ある世界の歴史を背景に理解し、その知識を身に付けている。
- 年表や歴史地図・写真などの映像から、歴史的事象を見出し、事実関係を明らかにすることができる。
- 様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択し活用できる。また、それらをもとに、発表・レポート作成などができる。

②思考・判断・表現

- 歴史的事象から課題を見出し、わが国の歴史の大きな流れと各時代の特色などを多面的・多角的に考察し、公正に判断する。
- 現在の生活が、先人の努力によって成し遂げられたことに気づき、考察することができる。

③主体的に学習に取り組む態度

- 歴史的事象に対する関心を高める、意欲的に追及する、積極的に取り組むことによって、わが国の文化と伝統について考え、国民としての自覚を持つようとする。

公民的分野の基本的な観点

①知識・技能

- 国際社会の中の日本の位置付け、政治的・経済的な制度のあらましを理解し、その知識を身に付けている。
- 新聞やTVニュース、映像など公民に関するさまざまな資料を収集し、有用な情報を適切に選択し活用するとともに、追求し考察した過程や結果をレポートや新聞形式にまとめ、発表を行う。

②思考・判断・表現

- 社会的事象から課題を見つけ出し、国際社会におけるわが国の立場と国際協調について多面的、多角的に考察し公正に判断し、自分の意見を感想文などにまとめる。

③主体的に学習に取り組む態度

- 国際社会を含む社会的事象に対する関心を高め、それを意欲的に追求し、広い視野に立って我が国の政治・経済および国際社会について考え、国民としての自覚を持つようとする。

(2) 具体的な評価の方法

知識・技能の評価方法

- a ペーパーテスト
- b 文章を説明する内容やその様子

※ペーパーテストでは、事実的な知識の習得を問う問題と、知識の概念的な理解を問う問題とのバランスに考慮する。

思考・判断・表現の評価方法

- a ペーパーテスト
- b 論述やレポートの内容
- c 発表の内容
- d 授業中の発言
- e グループでの話し合いの様子

主体的に学習に取り組む態度の評価方法

- a ノートやレポートによる記述
- b 授業中の発言や行動
- c 教師による行動観察
- d 生徒による自己評価や相互評価

2 授業実施計画

月	分野	大単元	小単元	おもな学習のねらい
4 5 6	歴史	開国と近代日本の歩み	④日清・日露戦争と近代産業	<ul style="list-style-type: none"> • 当時の大陸との関係をもとに、戦争にいたるまでの我が国の動きについて考える。また、我が国の産業革命と国民生活の変化について理解する。
		二度の世界大戦と日本	①第一次世界大戦と日本 ②大正デモクラシーの時代 ③世界恐慌と日本の中国侵略 ④第二次世界大戦と日本	<ul style="list-style-type: none"> • 第一次世界大戦前後の国際情勢と日本の政治や社会の動きを理解する。 • 世界恐慌から第二次世界大戦までの道のりを理解する。 • 太平洋戦争を全面的に理解し、戦争・平和・人権について考える。
		現代の日本と私たち	①戦後日本の出発 ②冷戦と日本の発展 ③新たな時代の日本と世界	<ul style="list-style-type: none"> • 日本の民主化から国際社会への復帰までの動きを冷戦構造の中に位置づけて理解する
6 7	公民	現代社会と私たち	①現代社会の特色と私たち ②わたしたちの生活と文化 ③現代社会の見方と考え方	<ul style="list-style-type: none"> • 科学技術の発展や経済成長を通して国民生活の変化を捉える。 • 地理的分野、歴史的分野との関連を踏まえ現代日本のさまざまな現象について身近な生活と関連付けて理解を深める。 • 日本の伝統的な文化について、特色を理解する。 • 社会生活における物事の決定の仕方やかまりを理解する。
7 9		個人の尊重と日本国憲法	①人権と日本国憲法 ②人権と共生社会 ③これからの人権保障	<ul style="list-style-type: none"> • 人権が確立されるまでの先人の努力を知るとともに日本国憲法の基本的な3代柱について理解を深める。 • 基本的人権の侵害について、日本国憲法を基に考え、基本的人権が社会の中でどのように生かされているか考える。
9 10		現代の民主政治と社会	①現代の民主政治 ②国の政治の仕組み	<ul style="list-style-type: none"> • 人間尊重の考え方を、基本的人権を中心に考えるとともに、法に基づく政治の大切さを理解する。 • 国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割を理解するとともに、議会制民主主義の意義を考える。 • 法に基づく公正な裁判の保障について理解し、民主政治推進のために国民の政治参加が大切であることに気づく。
			①地方自治と私たち	<ul style="list-style-type: none"> • 地方自治の考え方や仕組みを理解するとともに地方自治の発展に寄与しようとする住民としての自治意識をもつ。
11 12 1		私たちの暮らしと経済	①消費生活と市場経済 ②生産と労働 ③市場経済の仕組みと金融	<ul style="list-style-type: none"> • 商品やサービスの生産を家計と企業の関係から理解する。 • 身近な経済生活である消費を中心に経済活動がさまざまな条件の中での選択を通じて行われていることを理解する。 • 価格の種類ときまり方を知る。 • 金融機関の動きをつかむ
1 2	地球社会と私たち	①財政と国民の福祉 ②これからの経済と社会	<ul style="list-style-type: none"> • 国民生活や福祉の向上を実現する租税の意義と役割及び納税の義務を理解する。 • 限られた財源の配分という観点から財政について考える。 	
		①国際社会の仕組み ②さまざまな国際問題 ③これからの地球社会と日本	<ul style="list-style-type: none"> • 世界平和実現のために、国家間の相互の主権の尊重と協力、国民間の相互理解が大切であることを理解する。 • 我が国の安全と防衛について考えるとともに、世界平和を確立するための熱意と協力の態度をもつ。 • よりよい社会を築いていくために解決すべき課題(地球環境、資源エネルギー)について考え続けていく態度を持つ。 	
	より良い社会を目指して	①より良い社会を目指して	<ul style="list-style-type: none"> • 持続可能な社会を形成するために解決すべき社会の課題などを理解し、それらの知識を身に付けている。 • これまで学んだ内容(地理、歴史、公民)を踏まえると共に、教科横断的な学びを取り入れて、地域と共に生活していく方法を考える。 	

第3学年【数学科】シラバス

1 評価について

(1) 観点及びその趣旨

【知識・技能】

数の平方根の意味、単項式と多項式の計算、式の変形の意味とはたらし、二次方程式、図形の相似の意味や直角三角形の性質、二次関数の特徴などを理解し、平方根を含む式の計算ができ、数量の関係や法則を方程式などを用いて表現し処理したり、図形の性質について推論の筋道を簡潔に表現したり、数量関係を的確に表現したり数理的に処理したりすることができる。

【思考・判断・表現】

数学的活動を通して、数量、図形などについての基礎的な知識と技能を確実に習得するとともに、それらを活用しながら、数学的な見方や考え方を身に付け、事象に潜む関係や法則を見だし、数学的な推論の方法を用いて論理的に考察する。

【主体的に学習に取り組む態度】

さまざまな事象を数量や図形でとらえたり、それらの性質や関係を見いだしたりするなど、数学的に考えることに興味をもち、自分の習得した知識や技能をもとに、意欲的に問題を解決しようとする。

(2) 具体的な評価の方法

数学科では次のような項目から3観点に分けて、その到達度により観点別評価をつける。

○授業の取り組みの様子・発言、発表の内容 ○ノートや授業プリントの記述内容

○小テストや単元テスト、定期テスト ○振り返りシートによる自己評価など

※評価については、観点別評価のABCの数に応じて評価することを原則とする。

2 授業実施計画

月	単元・教材名	おもな学習のねらい
4 5	●式の展開と因数分解	・文字を用いた簡単な多項式について、式の展開や因数分解ができるようにする。
6 7	●平方根	・平方根の必要性に気づき、平方根の性質を調べることができるようにする。
8 9	●2次方程式	・2次方程式の必要性を知り、2次方程式を解くことができるようにする。 ・2次方程式を利用して、問題を解決することができるようにする。
9 10	●関数 $y = ax^2$	・事象のなかにある関数 $y = ax^2$ の関係を見だし、表現することができるようにする。 ・表、式、グラフを用いて、関数 $y = ax^2$ の特徴を調べることができるようにする。
10 11	●図形と相似	・図形の相似の意味を理解し、三角形の相似条件を見いだすことができるようにする。 ・三角形の相似条件を利用して、図形の性質を論理的に確かめることができるようにする。
11 12	●円の性質	・円周角と中心角の関係や円周角の性質を見だし、理解できるようにする。 ・見いだした図形の性質を円周角の定理を用いて証明することができる。
12 1 2	●三平方の定理 ●標本調査	・三平方の定理を見いだすことができるようにする。 ・三平方の定理を確かめることができるようにする。 ・母集団から標本を取り出し、標本の傾向を調べることで母集団の傾向が読み取れることを理解し、標本調査の方法や結果について考察し表現することができるようにする。

3 その他

少人数指導またはチームティーチングを行います。少人数指導の場合、標準クラスと基礎クラスの2クラスを編成します。生徒に希望を取り、クラスを編成し、授業を行います。ただし、人数バランスとして、基礎クラスは10人程度にするため、基礎クラスに行きたいとしても希望通りにならない可能性があります。

R6 第3学年【理科】シラバス

1 評価について

(1) 観点及びその趣旨

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次の通りに育成する。

【知識・技能】

自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な知識や技能を身につける。

【思考・判断・表現】

観察、実験などを行い、科学的に探究する力や見通しを立てる力、さらに他者にわかりやすく表現し伝える力を身につける。

【主体的に学習に取り組む態度】

自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を身につける。

(2) 具体的な評価の方法

【知識・技能】① 定期テスト ② ワークシートの記述

【思考・判断・表現】① 定期テスト ② ワークシートの記述

【主体的に学習に取り組む態度】① 定期テスト ② ワークシートの記述

2 授業実施計画

月	単元・教材名	おもな学習のねらい
4 5	生命の連続性	<ul style="list-style-type: none"> 身近な生物についての観察・実験を通して、細胞レベルで見た生物のからだのつくりと生殖について理解する。 親の形質が子に伝わる現象について理解する。 生命を尊重し、自然環境を保全しようとする意欲と態度を育てる。
6 7 8	化学変化とイオン	<ul style="list-style-type: none"> 導電性水溶液とイオンとの関係を実験・観察を通して理解する。 原子の内部構造を理解する。 いろいろなイオンの化学式をつくることができるようにする。 電池の電極で起こっているイオンの反応を理解し、いろいろな電池を知る。 実験を通して、イオンと酸・アルカリの関係を知る。
9 10	宇宙を観る	<ul style="list-style-type: none"> 身近な天体の観測を通して、地球の運動について考察する。 太陽の特徴および太陽系についての認識を深める。 天体および宇宙への興味・関心を高める。
11 12 1	運動とエネルギー	<ul style="list-style-type: none"> 身のまわりの物体の運動の観察・実験を通して、運動の調べ方の基礎を身につけ、力のつり合いを理解する。 力と運動についての基本的な規則性を理解する。 事象を日常生活と関連づけて、運動の初歩的な見方や考え方を養う。 エネルギーに関する観察・実験を通して、エネルギーの基礎について理解する。
2 3	自然と人間	<ul style="list-style-type: none"> 微生物のはたらきや自然環境を調べ、自然界における生物相互の関係やつりあいについて理解する。 自然と人間の関わり方について総合的に考える力を身につける。 自然環境を保全することの重要性を認識し、これまでの学習をふまえて、主体的で探求的な学習ができるようにする。 いろいろなエネルギーとその相互変換を知る。また、放射性物質の性質と利用方法を知る。

※ すべての単元において「観察、実験などに関する技能を身に付ける。」を学習のねらいとしている。

第3学年【音楽科】シラバス

1 評価について

(1) 観点及びその趣旨

「知識・技能」

＊曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身につけるようにする。

「思考・判断・表現」

＊曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。

「主体的に学習に取り組む態度」

＊主体的・協動的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。

(2) 具体的な評価の方法

- ①知識及び技能・・・・・・・・・・授業（取り組みの様子）・実技テスト・ワークシート 等
- ②思考力、判断力、表現力等・・・・授業（取り組みの様子）・実技テスト・ワークシート
自己評価カード 等
- ③学びに向かう力、人間性等・・・・授業（取り組みの様子）・実技テスト・ワークシート
自己評価カード 等

評定 ①～③の観点を総合して評定を出します。

2 授業実施計画

学期	題材名	おもな学習のねらい
1	A 表現・歌唱：歌詞が表す情景や心情を想像し、曲想を味わいながら、表現を工夫して歌おう。 A 表現・器楽・創作：構成を工夫して、音楽をつくろう。 B 鑑賞：能や文楽に親しもう。	日本の名曲を歌うことで、言葉と旋律の流れを感じ取ります。また、級友とともに合唱する喜びを味わい、音楽学習への意欲・態度を育てます。 音楽の様々な要素の働きによって生み出されるオーケストラの雰囲気や曲想を理解して鑑賞します。 曲にふさわしい音色や奏法を理解、工夫しながら演奏します。 名曲の一部を演奏することによって自ら表現しようとする意欲を高めます。
2	A 表現・歌唱：混声合唱の響きを味わおう。 （合唱コンクール）郷土の民謡を味わおう。 B 鑑賞：総合芸術とオーケストラの豊かな響きに親しもう。	混声合唱の美しさを感じ取り、クラス全員で協力して練習に取り組み質の高い合唱を目指して、聴き手を感動させるような合唱を作り上げます。 各時代の音楽を文化や歴史とかがかわらせて聴き、音楽を広く親しみながら鑑賞します。
3	A 表現・歌唱：曲想を味わいながら、気持ちを込めて合唱しよう。＜式歌＞ A 表現・器楽：器楽アンサンブルを楽しもう。 B 鑑賞：ギターとオーケストラによる豊かな表現を味わって聴こう。	卒業式に向けて、歌詞の意味、背景にある情景や心情を理解し、自己のイメージを生かして、豊かな響きと美しいハーモニーを味わえる素晴らしい合唱を作り上げます。 アンサンブルの楽しさを味わい、自ら表現しようとする意欲を高めます。 ギターと管弦楽の曲に興味を持ち、表現の特徴を味わい理解して聴こうとする態度を養います。

3 その他

＜使用教材＞

- ＊教科書「音楽1年」、「器楽」、「音楽2・3年上」、「音楽2・3年下」、＊合唱曲集、
- ＊アルトリコーダー（個人で所有）、＊ファイル 他

第3学年【美術科】シラバス

1 評価について

(1) 観点及びその趣旨

「知識・技能」

対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。

「思考・判断・表現」

自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。

「主体的に学習に取り組む態度」

楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を想像していく態度を養う。

(2) 具体的な評価の方法

①知識・技能…

授業（制作・取り組みの様子）、ワークシート、作品、期末テスト 等

②思考・判断・表現…

授業（制作・取り組みの様子）、ワークシート、作品、期末テスト 等

③主体的に学習に取り組む態度…

授業（制作・取り組みの様子）、ワークシート、作品、期末テスト等

2 授業実施計画

月	単元名	おもな学習のねらい
1 学期	「オリエンテーション」 「学びの探求と未来」	・1年間の美術の授業についての取り組み方法と課題を理解します。
	「仏像に宿る心」	・仏像を鑑賞し、感じたことや考えたことについて話し合います。 ・時代背景や種類、作者による願いなどを理解し、仏像のよさや美しさ、創造的な表現などを感じ取り、作品から受ける思いについて意見を述べ合います。
	「きらめきゆらめき」	・様々なものの中から造形的な美しさを感じ取って、写真を撮影します。 ・撮影した写真を持ち寄り、形や色彩、材料や光などの性質やそれらの感情にもたらす効果をもとに見方や感じ方を広げます。 ・絵の具などの特性を生かし、表現方法を追求します。 ・友達の作品を鑑賞し、視点の変えることの面白さや、表現の工夫などを話し合います。
2 学期	「思い出との対話」	・自分を見つめ、気持ちや性格、夢や思い出などについて考え、主題を生み出します。 ・構想、色彩を考え、コラージュの構想を練ります。 ・材料や用具、表現方法を工夫して、制作します。 ・友達の作品を鑑賞し、思いや意図、表現の工夫を感じ取り話し合います。
3 学期	「自分へ贈る卒業記念品」 「あなたへ 明日への巣立ち」	・使う人や場所のことを考えた美しいデザインを鑑賞し、生活空間にもたらす変化や豊かさについて話し合います。 ・機能性や美しさ、楽しさの視点から、形や色彩、材料などの効果を考え構想を練ります。 ・作品を使ったり、飾ったりして鑑賞し、作者の意図や表現の工夫を感じ取り、暮らしを豊かにするデザインの働きについて、感じたことや思ったことをまとめます。

3 その他

〈使用教材〉

教科書・アクリル絵の具・ファイル 他

第3学年【保健体育科】シラバス

1 評価について

(1) 観点及びその趣旨

【知識・技能】

各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。

【思考・判断・表現】

運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。

【主体的に学習に取り組む態度】

生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

(2) 具体的な評価の方法

単元毎にそれぞれの学習場面や活動を3つの観点に分け、その到達度により観点別評価をつける。

- 授業の取り組みの様子(技能・理解・表現・態度・マナー・安全)
- 発言状況(発言、発表、助言、炫ぎ)
- 定期テスト・実技テスト(得点・記録・フォーム・スキルポイント)
- 学習カード(自己評価・相互評価・気づき・感想)

2 授業実施計画

月	単元・教材名	おもな学習のねらい
4 5 6 7	体育理論	各種の運動特性と学び方、安全の確保の仕方、体ほぐし・体力と心身の働き等について理解するとともに、積極的な運動の実践ができるようにする。
	体づくり運動	運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体力を高め、目的に適した運動を身に付け、組み合わせることができるようにする。
	球技Ⅰ (バレーボール or ソフトボール)	基本的な技能やボールや用具、バットの操作などを身に付ける。また、球技の学習に積極的に取り組み、フェアにプレイすることや分担した役割を果たすこと、話合いに参加することなどができる。さらに、自己の健康や安全に気を配るとともに、技術の名称や行い方などを理解し、課題に応じた運動の取り組みを工夫できるようにする。
	水泳	記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、泳法を身に付けることができるようにする。また、泳法の学習に積極的に取り組み、水泳におけるルールやマナーを守り、分担した役割を果たそうとしている。技術の名称や行い方などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。
9 10 11 12	器械運動 (マット or 跳び箱)	技ができる楽しさや喜びを味わい、その技がよりよくできるようにする。また、器械運動の学習に積極的に取り組み、よい演技を認めることなどに意欲をもち、健康や安全に気を配るとともに、技の行い方や練習の仕方などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。
	陸上Ⅲ(長距離走)	長距離走では、自己のスピードを維持できるフォームでペースを守りながら、一定の距離を走り通し、タイムを短縮したり競争したりできるようにする。
	陸上Ⅰ・Ⅱ (短距離走・リレー・走り幅跳び)	自己の最大のスピードを高め、個人やチームのタイムを短縮したり、競争したりできるようにする。走り幅跳びでは助走スピードを生かして素早く踏み切り、より遠くへ跳んだり、競争したりできるようにする。
	ダンス	感じを込めて踊ったりみんなで踊ったりする楽しさや喜びを味わい、イメージをとらえた表現や踊りを通じた交流ができるようにする。
1 2 3	武道 (柔道)	技ができる楽しさや喜びを味わい、基本動作や基本となる技ができるようにする。また、伝統的な行動の仕方を守るなどに意欲をもち、健康や安全に気を配るとともに、礼に代表される伝統的な考え方などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。
	球技Ⅲ (バスケット・サッカー)	勝敗を競う楽しさや喜びを味わうとともに、基本的な技能を身に付ける。また、球技の学習に積極的に取り組み、フェアにプレイすることや分担した役割を果たすこと、話合いに参加することなどができる。さらに、自己の健康や安全に気を配るとともに、技術の名称や行い方などを理解し、課題に応じた運動の取り組みを工夫できるようにする。
	健康と環境 健康な生活と疾病の予防	健康と環境について理解できるようにする。 健康な生活と疾病の予防について理解を深めることができるようにする。

第3学年【技術・家庭科（技術分野）】シラバス

1 評価について

(1) 観点及びその趣旨

【知識・技能】生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解することができる。

【思考・判断・表現】生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決することができる。

【主体的に学習に取り組む態度】よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとしている。

(2) 具体的な評価の方法

以下の項目をそれぞれの観点に分けて評価する。

○授業中の取り組み状況 ○作品の製作過程 ○学習過程における習熟状況 ○完成した作品

○生物の管理状況 ○自己評価 ○レポート ○学習プリントの記入状況 ○ペーパーテスト 等

2 授業実施計画

月	単元・教材名	おもな学習のねらい
4	○コンピュータの構成 ○情報モラル	・情報機器の基礎について知る。 ・情報モラルについて知る。
5	○情報通信ネットワークの活用と応用 ・情報収集の応用	・インターネットを活用できる ・プライバシー保護と著作権について知る
6	・ネットワーク情報の管理	・ネット上の情報を利用できる ・フローチャートを用いて自分の考えを整理したり、よりよいアイデアを生み出したりするなどの学習活動を充実させる。
7	○計測・制御を活用して、生活を豊かにしてみよう ・プログラミング実験機器の製作・制御	・計測、制御システムの構成を理解し、生活における事例に当てはめながら説明することができる。
8		・計測、制御のプログラミング理解している。
9	○デジタル作品の製作 ・コンピュータを利用したマルチメディア	・計測、制御のプログラミングが活用できる。 ・学習した知識などを活用して、作品の構成と製作手順を考えることができる。
10		
11		
12		
1		
2		
3		

第3学年【技術・家庭科(家庭分野)】シラバス

1 評価について

(1) 評価の観点と方法

【知識・技能】 毎時間の学習への取組状況、定期テスト、実技テスト、作品・提出物況等で評価

【思考・判断・表現】 毎時間の学習への取り組みの工夫、製作計画のたて方、作業の進行状況、作品の工夫点、提出物の状況等で評価

【主体的に学習に取り組む態度】 毎時間の学習への取組状況、技・家ノート、製作計画・記録、作品・提出物の状況、および授業の準備等で評価

(2) 授業の受け方・学習の進め方

- ・安全な活動を心がける。(道具、用具類の扱い方や周囲への配慮等)
- ・忘れ物をしない。提出物の期限を守る。(準備を整えて授業に臨む姿勢、取組み方等)
- ・積極的に参加する。(指示に従って正しく作業する。自分で考え工夫しよりよいものを追求する。)
- ・調べる→理解する→実際にやってみる→評価する→さらに工夫創造を加えて生活に取り入れる。

2 授業実施計画

1 学 期	1 幼児の成長と発達	<ul style="list-style-type: none"> ・人の一生における幼児期の特徴を自分の成長を基に振り返る。 ・幼児の体と運動機能の発達を調べる。 ・こころの発達について、ことば・情緒・社会性の発達から考える。 ・あそびの意義とおもちゃの役割りについて理解する。 ・幼児のあそび、あそびと発達の関わりについて考える。 ・幼児との関わり方と、その影響を考える。 ・基本的な生活習慣、社会的な生活習慣の身につけさせ方を考える。 ・遊び道具の製作計画を立てることができる。 ・学習したことを生かして、あそび道具を製作することができる。 ・幼児が喜ぶように、想像し工夫を凝らして製作する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の成長と周囲の人々 ・幼児の成長と発達 ・幼児のあそび ・幼児の成長と家族 	
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児が喜ぶものを作ろう① あそび道具の製作 ・幼児を取り巻く環境 ・触れ合い体験 	<ul style="list-style-type: none"> ・遊び道具の製作計画を立てることができる。 ・学習したことを生かして、あそび道具を製作することができる。 ・幼児が喜ぶように、想像し工夫を凝らして製作する。 ・幼児の心身の発達に適したあそび方やかわり方について、自分なりに考え工夫する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児の食生活 ・幼児が喜ぶものを作ろう② おやつ調理 	
3 学 期	2 これからの私と家族・地域	<ul style="list-style-type: none"> ・3年間の学習を振り返りながら、家族や家庭生活の基本的な機能や地域との関わりについて理解を深め、生かすことを考える。 ・これからの自分の生活に関心を持ち、将来の家庭生活や家族との関わりに夢や希望が持てるようにする。
	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭生活と地域 ・3年間のふりかえり 	

第3学年【G・S科】シラバス

1 評価について

(1) 観点及びその趣旨

【知識・技能】

- ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解している。
- ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身につけている。

【思考・判断・表現】

- ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して伝えあったりしている。

【主体的に学習に取り組む態度】

- ・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら主体的にコミュニケーションを図ろうとしている。

(2) 具体的な評価の方法

- 定期テスト ○パフォーマンステスト ○宿題や課題テスト、小テスト ○コミュニケーション活動
○論述やレポート ○作品の制作や表現 ○ノート等の記述 ○発表 ○グループ活動 等

2 授業実施計画

月	単元・教材名	おもな学習のねらい
4	辞書を使いこなそう Program 1 Let's Discuss For Our School Food Festival (Bentos Are Interesting!) Word Web 1 家の中と外	<ul style="list-style-type: none"> ・辞書に書かれている情報について理解できる。 ・国際フェスティバルに出店する外国の食べ物を決めるために、外国の食べ物や文化について調べた情報に言及しながら、自分の考えや意見を伝え合うことができる。 ・ある部屋にいたら自分がすることを考えて、話し合うことができる。
5	Steps 1 デバートをしよう Program 2 School's Health Committee (Good Night. Sleep Tight.)	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマについて、デバートをすることができる。 ・保健委員会の一員として学校で生徒の健康を守っていく方法を考えるため、インタビューで他の生徒から得た情報に言及しながら、自分の考えや意見を伝え合うことができる。
6	Power-Up 1 道案内をしよう②（電車の乗りかえ） PROGRAM 3 Did You Know in Japan..? (A Hot Sport Today) Steps 2 メモの取り方を学ぼう	<ul style="list-style-type: none"> ・路線図を見ながら、たずねられた目的地への道案内（電車の乗りかえ）をすることができる。 ・ニュージーランドからの留学生に日本で人気のスポーツの起源や歴史を紹介することができる。事実や自分の考えたことや感じたこと、その理由などを書くことができる。 ・5W1Hを意識しながら、メモを取り、それをもとに話の内容について話し合うことができる。
7	Our Project 7 記者会見を開こう Reading 1 Do You Know This story? (Faithful Elephants)	<ul style="list-style-type: none"> ・記者会見の目的に沿って、わかりやすいスピーチをすることができる。また、スピーチの要点を聞き取り、質問したり、応答したりすることができる。 ・外国の人に、日本をテーマにした話を紹介するために、話の要点やおすすりポイントなどを整理し、まとまりのあるブックレポートを書くことができる。
8	Power-Up 2 買ったものを交換しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・店員役と客役に分かれ、買ったものの問題点を伝え、交換を求めたりやりとりすることができる。

9	PROGRAM 4 What Is the Best Thing in Japan? (Sign Languages, Not Just Gestures!) Power-Up 3 ホームページで学校を紹介しよう Steps 3 簡単な表現で言いかえよう	<ul style="list-style-type: none"> ディベートの国際大会に参加できるように、日本の遺産について事実や自分の考えを整理して、論理的で説得力のある考えや意見などをディベート形式で伝え合うことができる。 ホームページの形で、学校のことを知らない人に対し、学校の行事や部活動など必要な情報を伝えられる。 ある状況を設定し、自分が知っている表現を使って身の回りのものを伝え合うことができる。
10	PROGRAM 5 The History of Food (The Story of Chocolate) Steps 4 わかりやすい文章を考えよう Word Web 2 動詞の使い分け	<ul style="list-style-type: none"> ディベート大会のトーナメントで説得力のある主張ができるように、外国からの観光客にお勧めする日本食として何が適しているのか、相手に分かりやすく、説得力のある主張を伝えることができる。 つながぎ言葉や文章の構成を意識して、英文を読んだり書いたりすることができる。 辞書を活用しながら、複数の意味を持つ動詞について調べ、理解することができる。
11	PROGRAM 6 Future Leaders Debate (The Great Pacific Garbage Patch) Steps 5 ディスカッションをしよう Our Project 8 あなたの町を世界にPRしよう	<ul style="list-style-type: none"> 国際会議の代表として SDGs の達成に取り組むため、世界のリーダーを説得し、SDGs について事実や自分の考えを整理して伝えたり、相手からの質問に対して答えたりできる。 テーマについてディスカッションをし、結論を導くことができる。 ペアで地元のものや場所についてわかりやすく魅力的に PR をし、一番よい PR についてディスカッションして決めることができる。
12	Power-Up 4 非常時のアナウンスを聞こう PROGRAM 7 What Would You Do If you Had One Wish? (Is AI a Friend or an Enemy?) Reading 2 Active Reading (Malala's Voice for the Future)	<ul style="list-style-type: none"> アナウンスを聞いて、重要な情報を聞き取り、理解することができる。 「もし1つだけ願いが叶うとしたら、何を願いますか」というテーマについて、自分の気持ちや考え、理由を聞き手に理解してもらうために、いろいろなテーマでわかりやすい表現でスピーチを考え、話すことができる。 Active Reading の技術 文章を客観的に読み理解する力を高めるために、有名人についての話を読み、事実や自分の考え、気持ちなどを書くことができる。
1	Special Project 中学校の思い出を残そう Word Web 3 オリンピック競技・パラリンピック競技 Further Reading 1 The Ig Nobel Prize	<ul style="list-style-type: none"> 中学校の思い出について、クラスやグループで内容や発表方法を考え、紹介することができる。 出場したいオリンピックやパラリンピックについて、理由や質問などを交えて、話し合うことができる。 話の要点を理解し、物語について自分の考えや感想を伝え合うことができる。
2	Further Reading 2 Library Lion Reading Steps	<ul style="list-style-type: none"> 物語を読んで自分がいちばん大事に思ったことを事実や理由に基づいて表現することができる。 物語や説明文などを読んで、内容を理解し、自分のことや考え、知りたいことなどを書くことができる。

3 その他

英語の5領域（聞くこと・読むこと・話すこと[やり取り]・話すこと[発表]・書くこと）を総合的に育成し、文法事項と言語活動を一体的に行う。